

# ぬいぐるみ ~思い出クリーニング~



汚れてしまったぬいぐるみ。  
 埃っぽくなったぬいぐるみ。  
 臭いが付いてしまったぬいぐるみ。  
 大事な思い出が、いっぱい詰まったぬいぐるみ。  
 クリーニングできます。



15cm未満	600円	90cm	4,000円
30cm	1,200円	100cm	6,000円
50cm	2,000円	100cm以上	10,000円 ~
70cm	2,600円	※洋服の様な、高度なシミ抜きは出来ません。	

## Q 臭いが取れない衣類があります

### A 漂白剤に漬けてみては?

脱色が発生しないように、酸素系の漂白剤をおすすめします。

- 40度のお湯に漂白剤を適量(1Lに5g)入れて溶かし。
- 衣類を30分漬け込みます。
- その後、いつも通り洗濯すればOK。

## ちょっと気になる物

### 洗濯機の防音マット

洗濯機を使い込むと、どうしてもガタゴト音が発生しがち。

そんな洗濯機の足と床の間に挟み、ガタゴト音を和らげるマットです。

インクジェットプリンタにも使えるかしら。



ニューしずか

検索

# vol. 156 2018年11月号

## お洗濯の、ちょっと良い話

お洗濯も基本を守れば、汚れが良く落ちるだけでなく、お洋服を長く愛用出来ることに繋がります。お洗濯の習慣を少しだけ見直し、合理的なお洗濯で、是非お洋服を末永く愛用してください。



### 毛玉取り

多くのセーターやカーディガン、フリースなどに発生する「毛玉」。毛玉が発生すると、洋服が古く見えてしまいます。そんな毛玉について、今月はお話しましょう。



#### 何故、毛玉が出来る?

毛玉は、繊維が日常生活や洗濯で擦れて毛羽立ち、それが絡み合って球状になり、発生します。勘の鋭い方は、お分かりでしょうが、毛玉を発生させないようにするには、洋服を、こすったり、擦れたりしないように扱うことが一番の予防策です。



#### 洗濯では取り除けない

とはいえ、肘やエリ、脇や手首などは、どんなに注意しても擦れが生じ、多かれ少なかれ、毛玉は発生しがちです。洗濯で一気に取り除ければ良いのですが、毛玉は汚れではなく繊維の一部分ですから、洗濯では取り除けません。

それらを踏まえて、毛玉取りの方法を、ご紹介していきましょう。

#### ①毛玉取りブラシ

動物の毛のブラシで、毛玉をブラッシングして、毛玉を取り除きます。



大きな毛玉も、小さな毛玉も綺麗に取り除けますが、毛玉と繋がっている繊維も抜き去る為、少しずつではありますが、生地が痩せてしまうのと、少々値が張るのが欠点です。(2,000~4,000円程度)

#### ②電動の毛玉取り機

ホームセンターで売っている毛玉取り機は、毛玉だけを綺麗に取り除けます。



また、強く押し当てなければ生地を傷めることも無く、手間もかかりません。

お値段もブラシに比べると安価です。(1,000~2,000円)

しかし、大きな毛玉を取り除けない点は、目をつぶらなければいけません。

…以上を踏まえまして、大きな毛玉にはブラシ、小さな毛玉に毛玉取り機を併用するのをおすすめします! (所)

### “職人・小岩の”しみ抜き実例集 「コーヒーのシミ」編



※しみ抜きは、無料です

### “職人・窪田の”しみ抜き実例集 「ジャケットにインク」編

